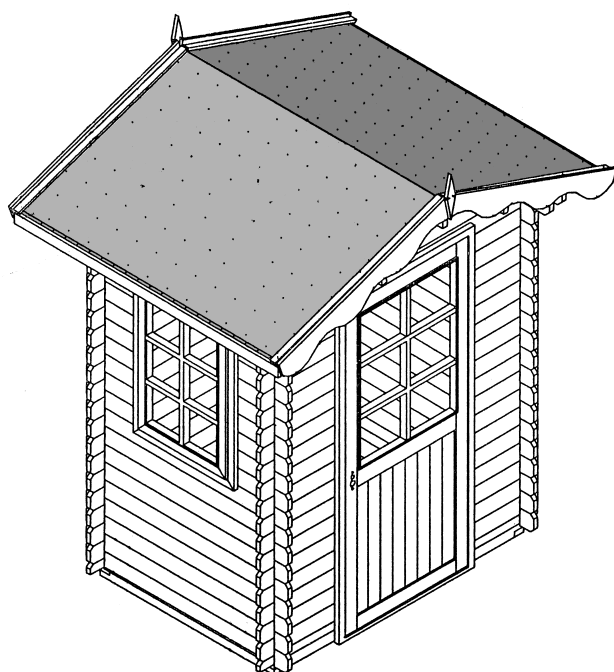


『CONCEPT DX 1813』

—ASSEMBLY MANUAL—

(組立説明書)



この度はコンセプトデラックスをお買い上げ下さいまして、誠にありがとうございます。どうぞ末長くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、このハウスの組立、ご使用にあたってのご注意についての本説明書は必ずお読み下さい。

安全確保のために設置場所及び転倒防止には充分御注意下さい。

日本総輸入元

JB ジャービス商事株式会社

宇都宮市西川田本町3-24-17

TEL : 028-615-2666

FAX : 028-615-2662

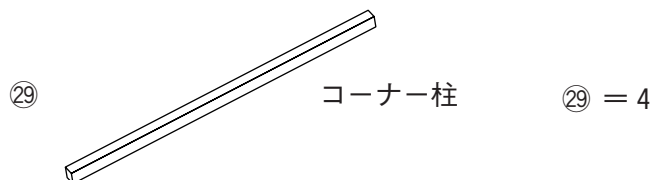
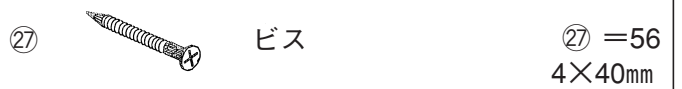
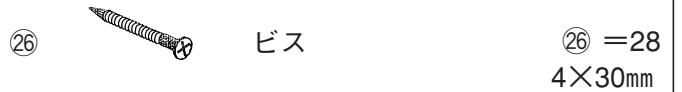
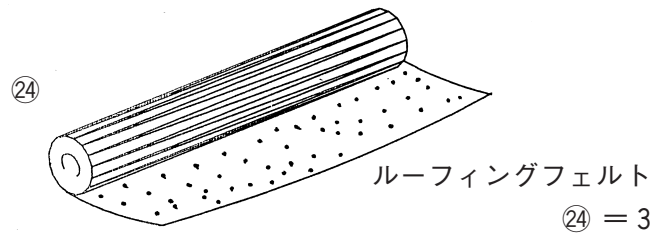
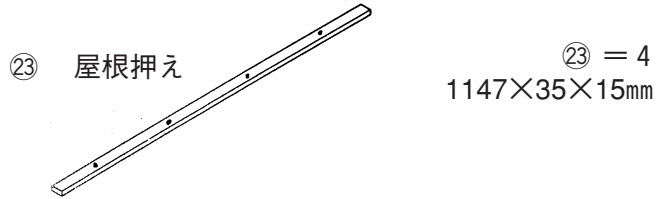
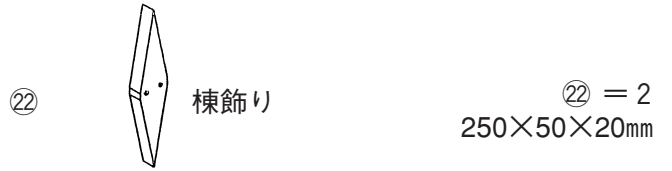
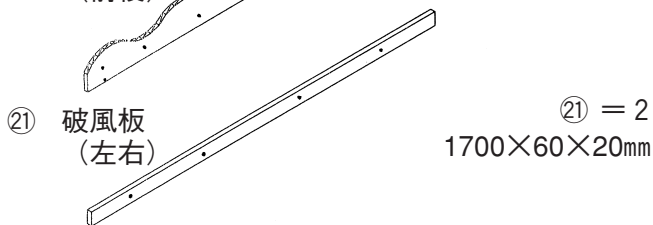
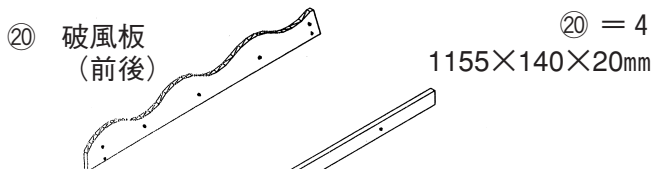
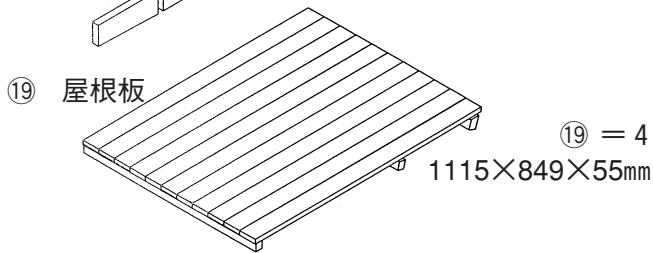
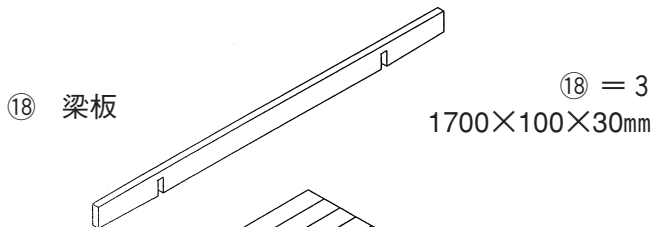
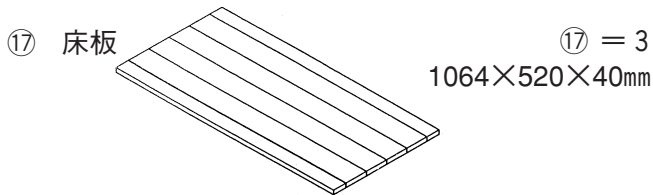
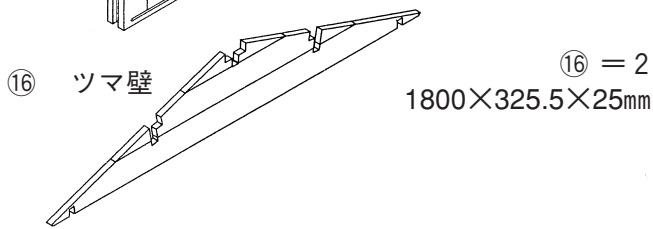
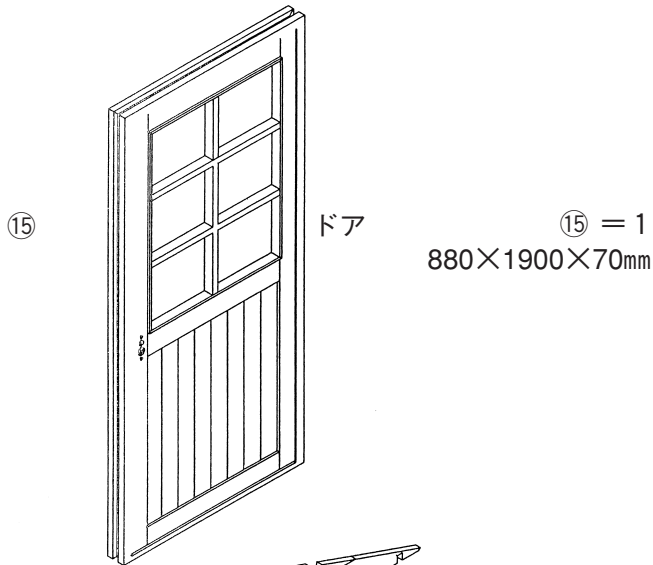
—ご準備していただく工具類—

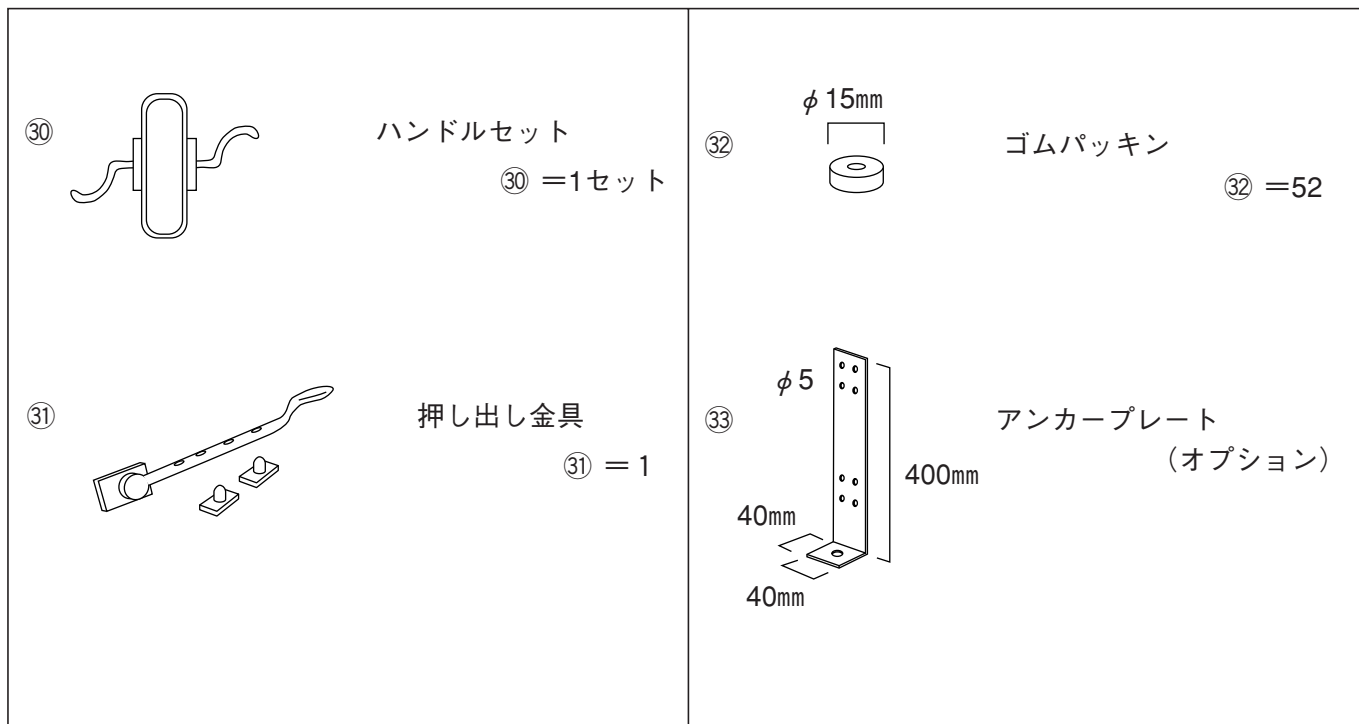
- ・ハンマー
- ・ノコギリ
- ・水平器
- ・スコップ
- ・+ドライバー

- ・インパクトドライバー
- ・カッター
- ・スケール
- ・ノミ
- ・基礎用1/2ブロック、又はレンガ

—部材リスト—

①	土台	① = 2	1620×60×60mm	⑨	ログ板	⑨ = 1	1300×110×25mm
②	土台	② = 2	1120×60×60mm	⑩	ログ板	⑩ = 2	1500×110×25mm
③	土台	③ = 1	1560×60×60mm	⑪	ログ板	⑪ = 2	1700×105×25mm
④	ログ板	④ = 2	479×58×25mm	⑫	ログ板	⑫ = 1	1800×110×25mm
⑤	ログ板	⑤ = 1	1800×58×25mm	⑬	ログ板	⑬ = 20	1800×110×25mm
⑥	ログ板	⑥ = 34	479×110×25mm	⑭	窓	⑭ = 1	900×650×70mm
⑦	ログ板	⑦ = 16	344×110×25mm				
⑧	ログ板	⑧ = 27	1300×110×25mm				



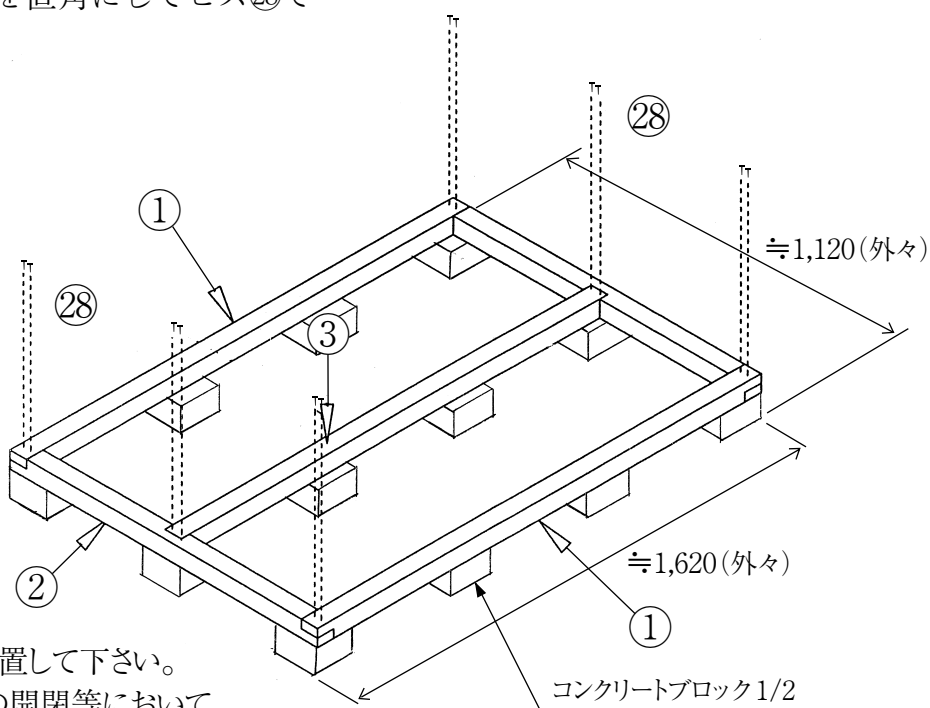


—組立順序のご説明—

- 安全確保の為、転倒防止工事には充分ご注意ください。
- この機種は、転倒風圧が大きいので特に注意が必要です。
- ビス止めを必要とする部材にはすべて仮穴をあけて下さい。

1

コンクリートブロック1/2を、土台の下に入るように配置し、水平に設置します。土台①~③を図のように並べ、対角の長さをそろえて、四隅を直角にしてビス②⑧で固定します。

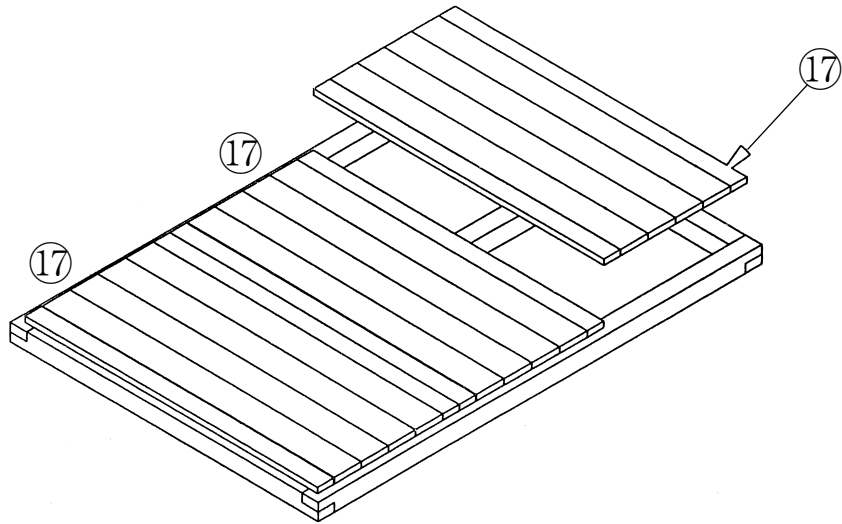


注:ブロックは必ず水平に設置して下さい。
水平でない場合、ドアの開閉等において不具合が発生する恐れがあります。
注:ブロックの数はタイプによって異なります。

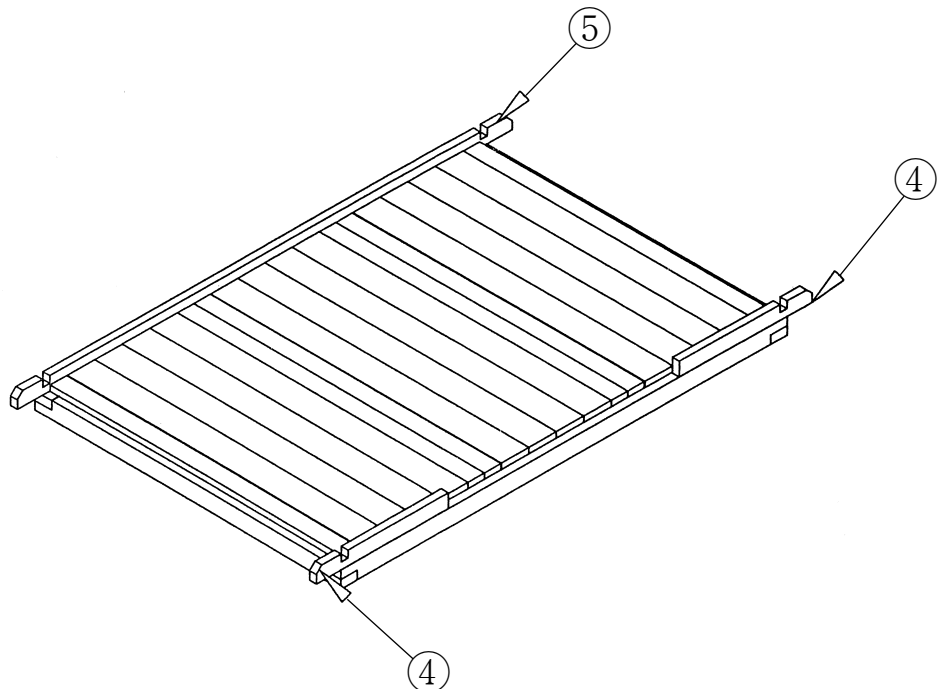
注:ブロックの間隔は900mm以内に配置して下さい。

2

床板⑰を敷きます。

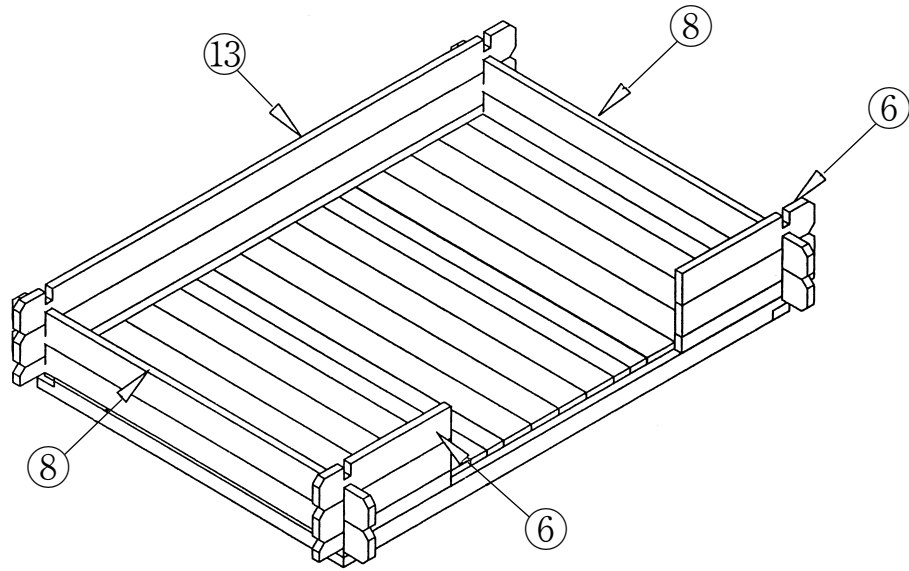
**3**

ログ板④、⑤、を図のように配置します。

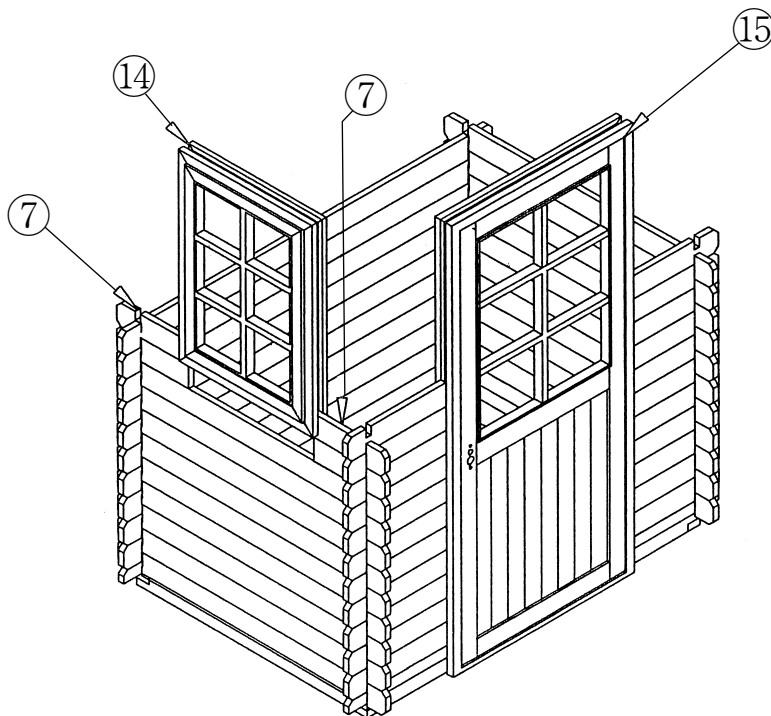


4

ログ板⑥、⑧、⑬、を図のように配置します。

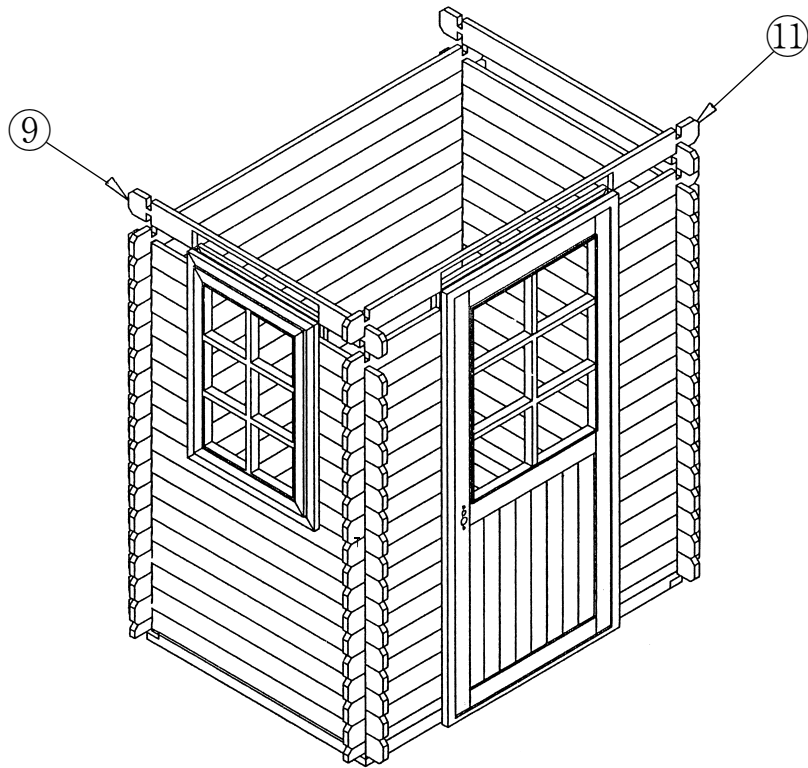
**5**

ログ板を交互に積み重ねていきながらドアパネル及び窓パネルを設置します。

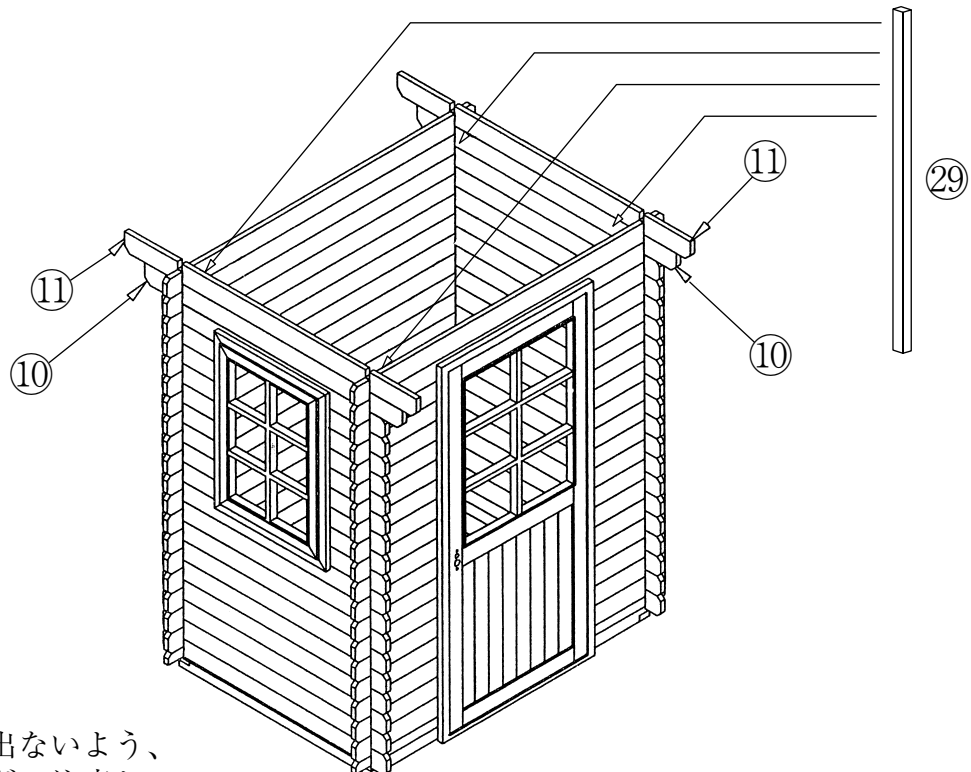


6

ログ板を図のように組み上げます。

**7**

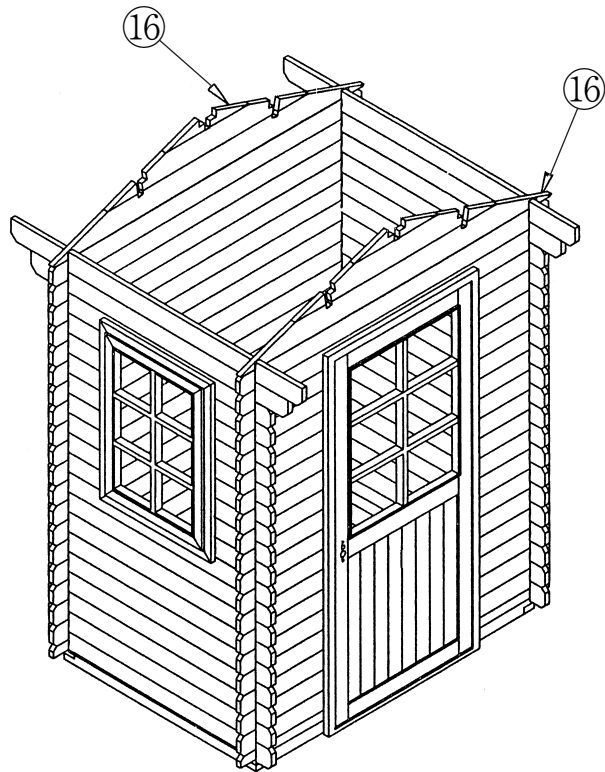
ログ板を図のように組み上げたら、ハウスの四隅の内側にコーナー⑳柱を設置し、ビス㉑を内側から打って固定します。



注：ビスの頭が出ないように、
めり込み過ぎに注意して
ビスを打って下さい。

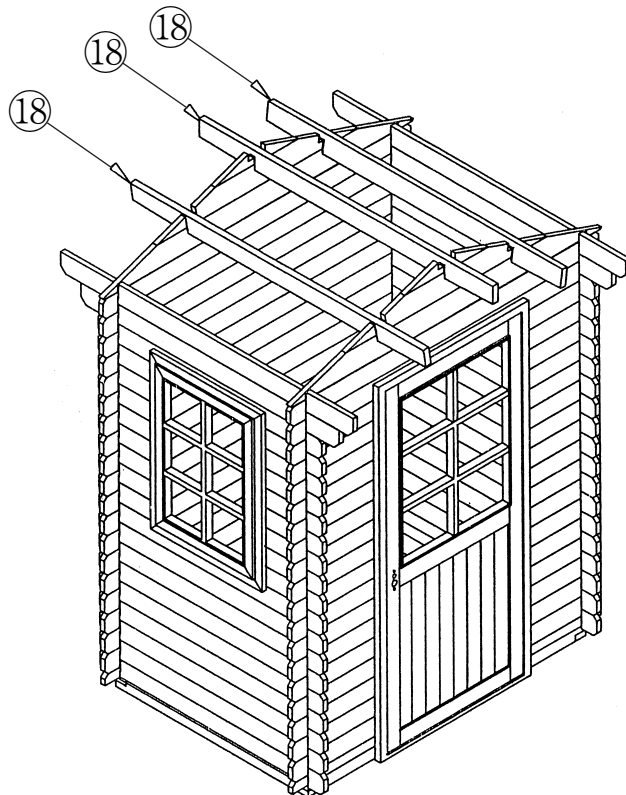
8

ツマ壁⑬を設置します。



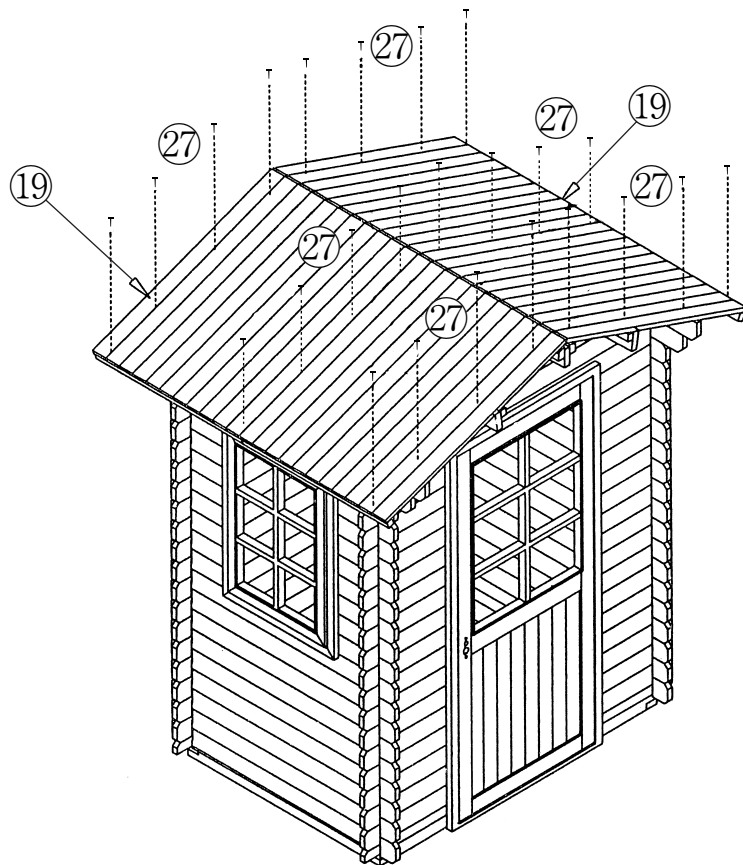
9

梁板⑱を設置します。

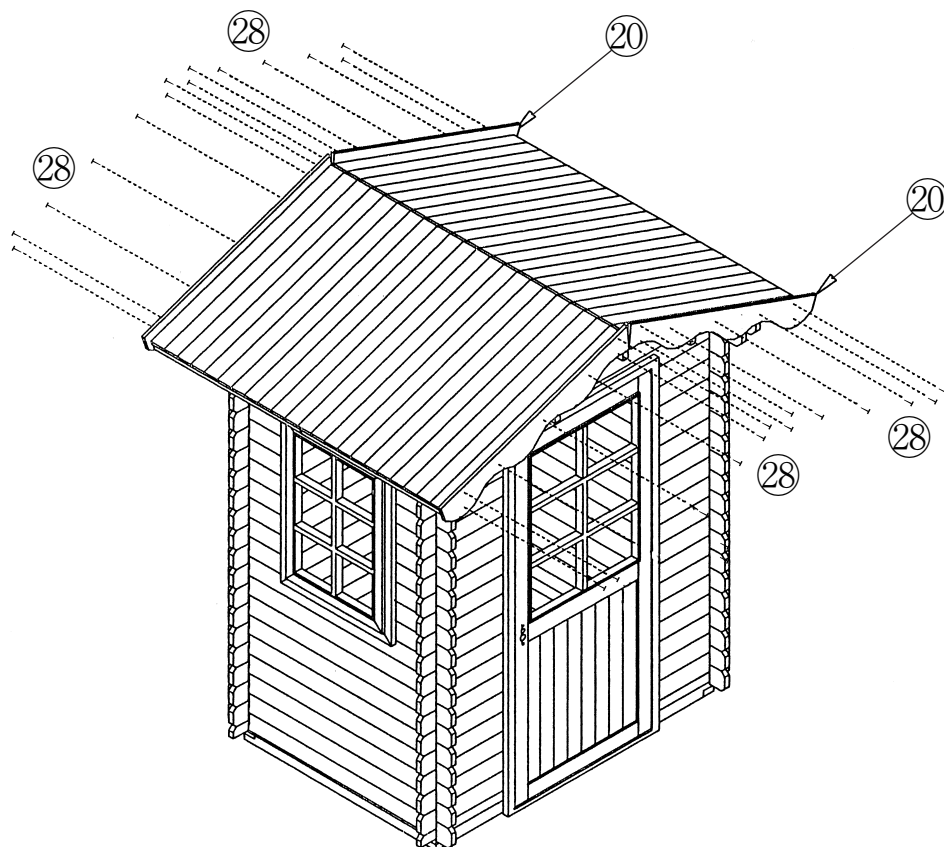


10

屋根板⑱を設置し、ビス⑳で固定します。

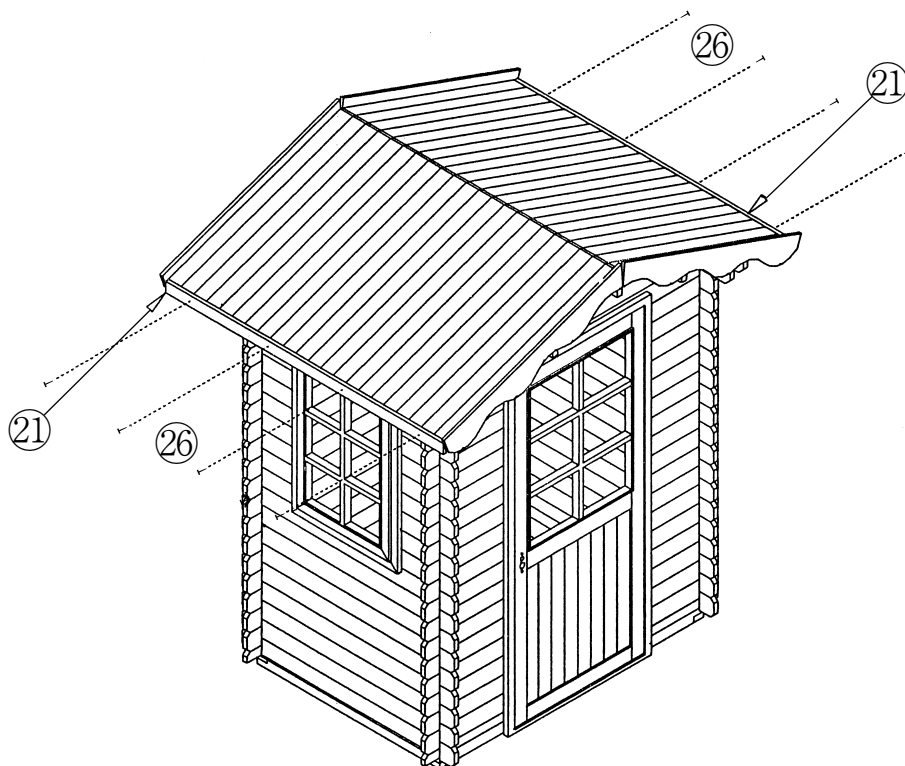
**11**

破風板㉔をビス㉕で打ち付けます。



12

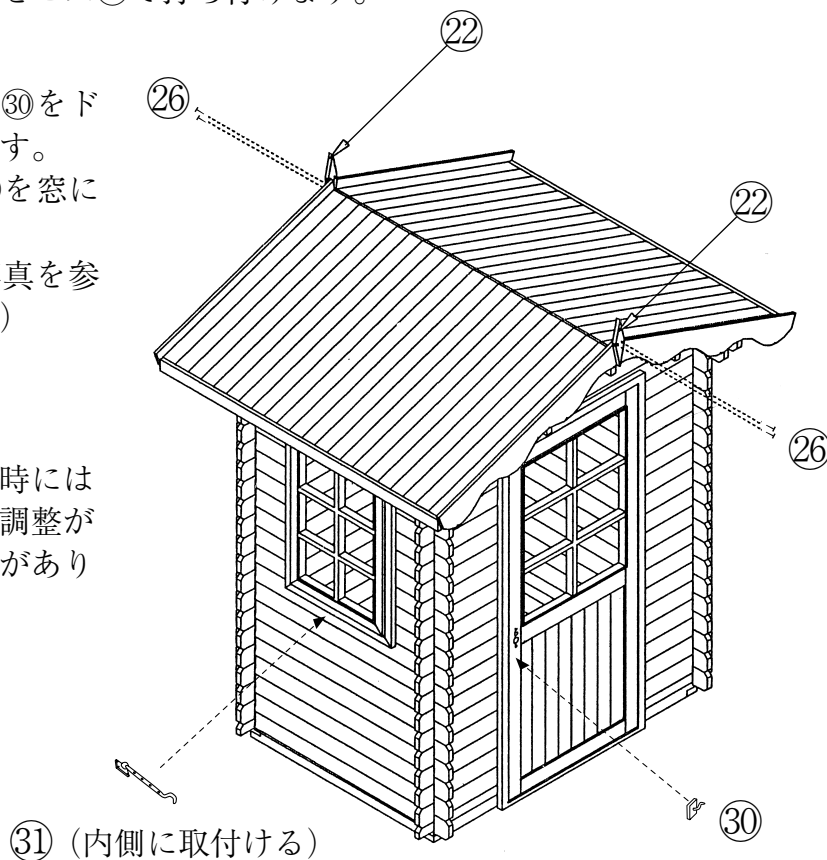
破風板⑳をビス㉔で打ち付けます。

**13**

棟飾り㉔をビス㉔で打ち付けます。

レバーハンドル㉔をドアに取り付けます。
 押し出し金具㉔を窓に取り付けます。
 (カタログの写真を参考にして下さい)

注：錠前の取付時には
 欠き込み等調整が
 必要な場合があります。

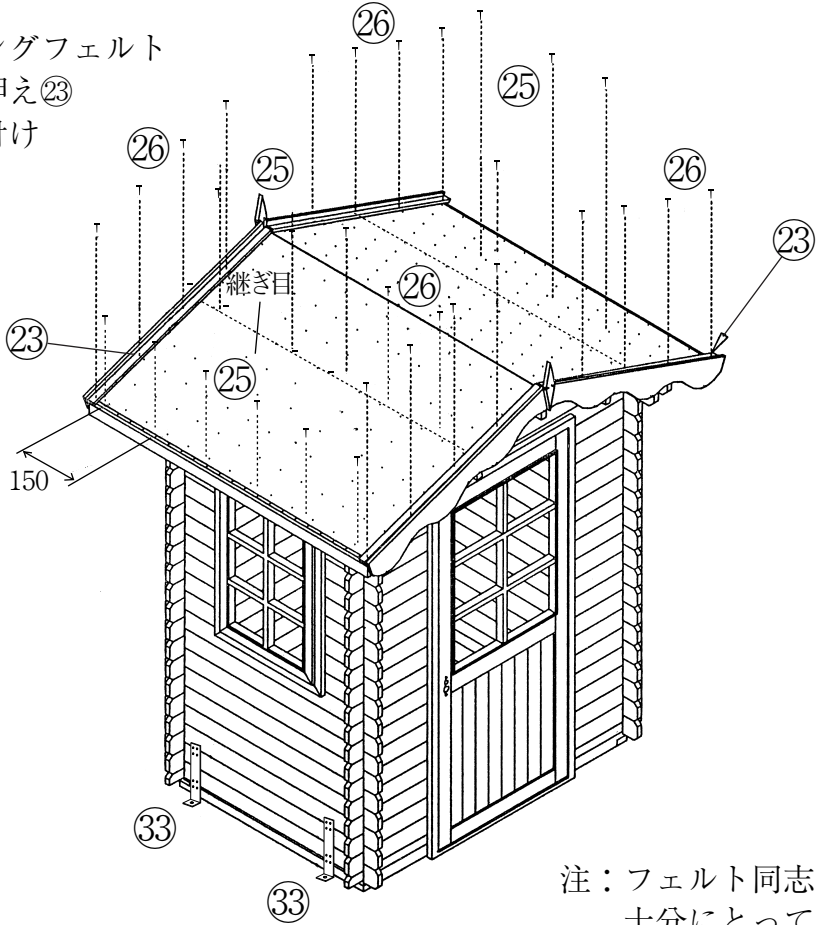


14

屋根にルーフィングフェルト
②④を敷き、屋根押え②③
をビス②⑥で打ち付け
ます。

ルーフィングフェルト
の外周と重ね部分
に、ゴムパッキン③②
とビス②⑤を150ピッ
チで打ちつけます。

建物を地盤面に固定
するため、四隅にア
ンカープレート③③（
オプション）を打ち
付けます。
（詳細は図15をご覧
下さい）



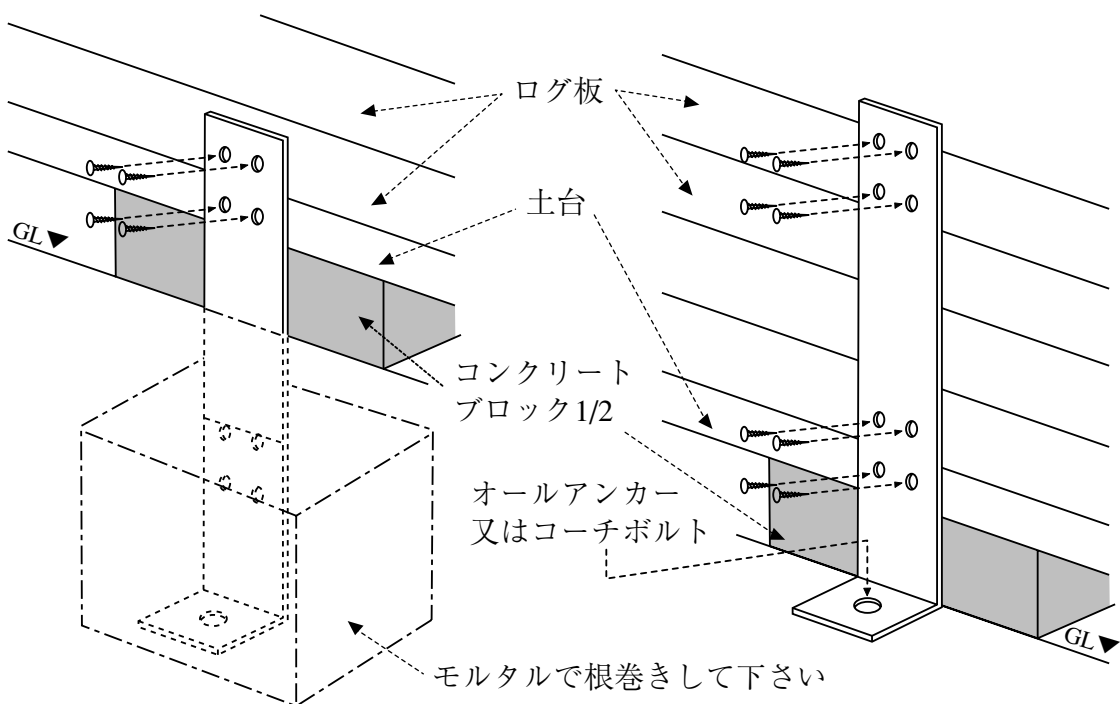
注：フェルト同志の重ねは
十分にとって下さい。

15

アンカープレートの施工（オプション）

〔アンカープレートを地中に埋め込む場合〕

〔アンカープレートを地中に埋め込まない場合〕



※各コーナーにつき1ヶ所使用して下さい。

—そ の 他—

- ・オプションとして
 - ・ブロック（1／2ブロック、又は基本ブロック）
 - ・アンカープレート工事 ・雨どい工事
 - ・窓追加工事
 - ・屋根材の変更工事（U瓦、及びコロニアルタイプ）等のグレードアップパーツが取りそろえております。
- ・安全のため、アンカー工事をするをお勧めします。
- ・価格については別紙カタログをご覧ください。

—ご使用にあたってのご注意—

1. このハウスは床面積が少ないため、転倒または吹き飛ばされる事があります。転倒防止工事をお願いします。
2. 材質は中国桧ですので、耐水性に優れています。
長持ちさせるため、又は変色を防ぐために、定期的に塗装することをおすすめします。
3. 木製商品のため、長い間にはソリ、ネジレ、ヒビ等が発生するおそれがありますので、ご了承ください。
4. さらに長持ちさせるために、年1回のお手入れをお勧めします。

※特に風当たりの強い場所に設置する場合は、転倒防止に充分ご注意ください。